

「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと 安全・安心な区民生活を実現するための予算」



平成24年度予算が決まりました。予算総額は、1,035億5,000万円で、前年度に比べ117億9,000万円、10.2パーセントの減となります。景気の先行きが依然として不透明であることから、歳入の根幹を成す特別区民税収入は、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、平成24年度予算編成においては、新たな港区財政運営方針のもと、新規及びレベルアップ事業については、必要性・効率性・効果性を見極め予算化し、既存事業についても、事業の統廃合等により再構築を進めました。また、人件費をはじめとした経常的経費の節減に取り組むなど内部努力を徹底しました。

今後も、港区財政運営方針に掲げている「次世代に過度な負担を残さない取組」、「自主財源の積極的な確保」、「効率的・効果的な予算編成手法の確立」、「不断の内部努力の徹底」、「区財政に関する情報の提供と活用」の5つの具体的取組を実施し、区民の誰もが将来にわたって安心できる財政運営を行い、磐石な財政基盤を確立していきます。

■各会計の財政規模

(単位：千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		対前年度比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	103,550,000	72.8	115,340,000	75.9	△11,790,000	△10.2
国民健康保険事業会計	21,234,709	14.9	20,720,220	13.6	514,489	2.5
後期高齢者医療会計	4,444,018	3.1	4,134,069	2.7	309,949	7.5
介護保険会計	12,998,363	9.1	11,727,736	7.7	1,270,627	10.8
合 計	142,227,090	100.0	151,922,025	100.0	△9,694,935	△6.4



池田こうじプロフィール

ケアマネージャーとして港区内を駆け回り、特別養護老人ホーム施設長を5年、虐待児を預かる児童養護施設を運営、福祉の専門家として平成19年港区議会議員初当選、現在2期目。地域活動として消防団員、町会副会長、地区委員としても活躍。

【議会役職】防災・エレベーター等対策特別委員（委員長）、建設常任委員、交通・環境等対策特別委員。東京都後期高齢者医療広域連合議会議員。

【学歴・家族等】港区立青南小学校、港区立六本木（旧三河台）中学校、都立小山台高校、同志社大学（哲学科）、卒業。慶應義塾大学大学院修士課程修了。昭和39年生まれ、家族、妻・長男。

「港区の安全安心を誓う」

3月11日を機に、日本は変わってしまったように思います。背負うものが全く変わってしまったということだと思います。震災後1カ月ほどしてから、私は宮城県庁に行きました。私が児童養護施設を運営しているので、東京都の全施設を巻き込んで、津波による孤児の東京での受け入れについて調査と交渉に行ったわけではありますが、4月時点の統計で、両親を亡くした孤児が宮城県だけで100人。まだ実態は把握できていないという県庁の責任者の話には絶句いたしました。津波孤児に給付事業を行っているあしなが育英会の仙台事務所にも赴きましたが、その時点での登録は1,000人を超えておりました。この子どもたちに希望を見出さなくて、何の復興か。私はそのように思いますが、これはこの大震災の象徴的な話であります。

先日、被災地に行ったときには、瓦れきは大方片づけられ、瓦れきの山には緑が生えておりました。時がたったのであります。空港も駅も考えられないほどの早さで再開されたのは、皆さん知るところであります。行くたびに被災地の方の新しいあしたをつくろうというパワフルさ、日本人の底力を感じました。しかしながら、私のこの大震災の原体験は、この場所、この委員会室で経験した、あの不気味な揺れであります。あの揺れはあまたの命を奪った東北から連なる揺れだったと後になって思い返すほど、それは私の中で心痛む記憶になっていきます。そして、あの揺れを、1期生諸君は別といたしまして、区長以下、幹部職員、全議員、同じ場所で、ここで共有したということは、我々が党派を超えて結束して、20万区民の命を守らなければならないという厳粛な、象徴的な共有体験だったと思い返すわけであります。

日本は本当に多くのものを失い、多くの悲しみを得ました。今、日本にはきずながあふれております。きずなという言葉もあふれています。くしくも震災直前の昨年2月25日、私は本会議場で、一般質問で冒頭にこんなことを申し上げました。悲惨な虐待事件、100歳以上の高齢者の不在問題、介護現場において親を殺めるような事件が多発している今の世相は、現代日本の家族のきずなが崩壊しつつあることを示唆しているのではないか。家族だけではなく、地域のきずな、まちのきずな、そして国家のきずな、この日本ではもはや失われてしまったのでしょうか。政治の世界において、区民に一番近い地方行政港区は、この日本で失われつつあるきずなの再生に真摯に向き合わなければならない。皮肉にも、我々は震災を機にきずなを再生しつつあります。そして、地域に根差している地方行政港区は地域のきずなを再生し、さらに厚くする最も重要な役割を担っているという思いを強くしております。



宮城県女川町のがれき置き場にて

平成23年度決算特別委員会質疑より

区政報告についてのご意見、区政への要望等をお聞かせください

FAX 03-5549-4157
mail:info@ikedas55.com



港区議会自民党控室
港区芝公園1-5-25
P C 版 HP <http://www.ikedas55.com>
携 帯 版 HP <http://www.ikedas55.com/i>
港区自民党 HP <http://www.minato-jimin.com/>